

## 水産業の復旧状況

▽問い合わせ先Ⅱ水産課(管内線371)

水産資源の減少や加工原魚の不足、担い手不足、貝毒の発生に伴う出荷自主規制の長期化など、非常に厳しい状況にあります。市内各漁業協同組合をはじめ、関係機関・団体と一丸となり、水産業の一層の振興を目指し、全力で取り組んでいます。

特に、水産業の健全な発展を図る観点から、サンマやサケ、スルメイカなど、水産資源の永続的かつ適切な管理について、国および岩手県に対して具体的な対応を強く働きかけるとともに、市内漁業協同組合が実施しているサケ、アワビなどの増殖事業を支援しています。被災した水産基盤施設は、漁港の災害復旧や用地のかさ上げを行うなど、生産基盤の再建を進めています。

### ■市営漁港の整備状況

市営漁港については、平成31年1月末現在において、災害査定決定を受けた176施設のうち、174施設の供用(98.9%)を開始しており、防潮堤工事と併行して復旧しなければならないなどの理由により、未完成となっている施設の復旧を残すのみとなっています。

漁港海岸防潮堤については、市所管の全7防潮堤(吉浜、泊、小石浜、野野前、蛸ノ浦、碓石、泊里漁港)と県所管の全5防潮堤(崎浜、越喜来、綾里、大船渡、門の浜漁港)のうち、本体工事については、8漁港の防潮堤(碓石、吉浜、泊、小石浜、野野前、崎浜、越喜来、門の浜)が完成しており、引き続き水門・陸こう工事および自動閉鎖システム工事を進めています。

### ■大船渡市魚市場

大船渡市魚市場では、漁船誘致活動に積極的に取り組むなど、一層の水揚増強と魚介類の安定供給に努めています。水揚げ状況については、震災前5年平均と比較し、水揚

【単位 数量：ト 金額：百万円】

| 項目  | 平成30年  |       | 震災前5年平均 |       | 比較    |        |
|-----|--------|-------|---------|-------|-------|--------|
|     | 水揚数量   | 水揚金額  | 水揚数量    | 水揚金額  | 水揚数量  | 水揚金額   |
| 水揚  | 43,232 | 6,591 | 55,896  | 6,385 | 77.3% | 103.2% |
| 項目  | 平成30年  |       | 震災前5年平均 |       | 比較    |        |
|     | 水揚数量   | 水揚金額  | 水揚数量    | 水揚金額  | 水揚数量  | 水揚金額   |
| サンマ | 17,382 | 3,133 | 25,100  | 1,809 | 69.2% | 173.2% |
| サケ  | 376    | 253   | 3,712   | 1,412 | 10.1% | 17.9%  |
| サバ  | 5,225  | 555   | 8,908   | 550   | 58.6% | 100.9% |

数量は77.3%、水揚金額は103.2%となっており、主要魚種であるサンマの水揚数量はやや回復しているものの、サケの水揚数量が著しく減少している状況にあります。サケ水揚量の減少は、震災でサケ稚魚の放流数が少ないことや、海水温や海流など海洋環境の変化などによるものと考えられています。

## 被災事業者の支援

▽問い合わせ先Ⅱ商工課(管内線108)

### ■本格復旧に向けた補助制度の活用実績

東日本大震災から8年が経過し、被災した事業者は、国と県が実施する中小企業等復興・復興支援補助事業(いわゆるグループ補助)をはじめとする各種補助制度や融資制度の活用などにより、事業再開を果たしてきています。

### 中小企業被災資産復旧費補助事業の活用実績 (平成31年2月末現在)

| 年度   | 件数            | 交付決定額                |
|------|---------------|----------------------|
| 24年度 | 63件           | 1億7,035万円            |
| 25年度 | 17件<br>(※23件) | 6,226万円<br>(5,112万円) |
| 26年度 | 7件            | 3,433万円              |
| 27年度 | 10件           | 3,530万円              |
| 28年度 | 13件           | 3,483万円              |
| 29年度 | 1件            | 51万円                 |
| 30年度 | 4件            | 925万円                |
| 合計   | 138件          | 3億9,795万円            |

※平成25年度に補助限度額を見直したことから、平成24年度申請分の事業者について、平成25年度に追加の交付決定を行ったものです。

事業再開のために不可欠な被災資産を復旧する場合に要する経費に対して補助を行う中小企業被災資産復旧費補助事業は、平成24年度の事業開始から現在まで多くの事業者が活用しており、事業の早期本設再開につながっています。

## 次代の地域経済を担う 人材育成の取り組み

### このまちで挑戦・チャレンジする人を応援したい

東日本大震災後の地域経済は、地元企業のたゆまぬ経営努力と復興計画の推進に伴う復興需要により、震災前の水準よりも高い経済成長を見せています。各種復興工事後の完了、人口減少に伴う地域内売上の減少と人手不足への懸念などが予想される中、復興需要終息後の地域経済を高い水準で維持し、将来にわたり持続可能な地域社会を構築していくためには、これからの地域経済をけん引していく人材の成長が必要不可欠です。

市では、大船渡商工会議所などの関係団体と連携し、それぞれのステージに応じた学びの場づくりをサポートしています。

▽問い合わせ先Ⅱ起業支援室(管内線105)

### 若い人の起業や新ビジネス創出への意欲向上の場

〜大船渡ビジネスプランコンテスト2018〜

第4回目の本コンテストには、気仙 式の講座の開催を通じて、単なるアイ管内の高校や県内外の大学などから全 デア出しに留まらず、地域の課題や32組の応募があり、一次審査を経て、 ニーズに応じた、より具体性・実現性最終的に10組27名が最終審査会に臨み のあるプラン作成を支援しました。

地元にある食材の特性を生かした新しい商品アイデアや、構造物の新たな価値創造の提案など、会場はプレゼンの内容、発表者の意欲により熱気に包まれ、大いに盛り上がりました。

市では、実行委員会事務局として本コンテストを運営するほか、最終審査会出場者への約2カ月間にわたるプランのブラッシュアップや、岩手大学との連携により、高校生を対象にビジネスプランを作成するワークショップ形



若手経営者や幹部候補生らの成長の場〜大船渡ビジネスアカデミー〜  
大船渡商工会議所が主催し、地元企業の経営者、後継者および幹部候補者などを対象に、経営スキルの向上や新たな事業展開に向けた経営計画の策定などの各種カリキュラムを、専門家のサポートを受けながら6カ月間にわたって学びました。

これまでに、アカデミーを修了した2期間計19名の研修生は、大船渡市の経済を担ってきた多くの先輩方に続けとばかりに、高い意欲を持って前進を続けています。

市では、このアカデミー開催にかかる事業費の一部を支援しています。



### 女性の起業家や経営者らの交流と学びの場〜けせん女志会〜

市内には、自らの趣味、特技や資格を生かして起業した、または起業に興味がある女性の皆さんが元気に活動しています。

けせん女志会は、こうした人たちが、「気軽に楽しく交流しながら、女性同士のつながりを広げていければ、このまちはもっと楽しくなる」との考えのもと、平成29年度に発足しました。

会は、これまでに4回開催し、有志で自ら企画・運営を行いました。女性起業家の体験を通じて共に学びあい、特技を生かして共に体験し、そして、ざっくばらんに交流しあう機会などをつくらせています。

市は、けせん女志会の立ち上げと、

